

ドバイ航空ショーに出展



ドバイ航空ショーで展示されたエミレーツ航空 A380

エアバスは11月17日から21日まで開催されたドバイ航空ショーに出展しました（4ページに写真特集）。ショーの期間中は民間航空機から軍用機、ヘリコプター、宇宙関連まで様々な革新技術や製品、サービスを幅広く紹介しました。

ドバイ航空ショーはエアバスにとって最先端の製品やサービスを顧客へアピールする重要な機会です。

ショーに参加することによって、アラブ首長国連邦やより広い地域における航空宇宙産業の向上に寄与します。

ショーの期間中、最新鋭機 A350-900 の地上展示を行ったほか、サラム・エアの A320neo、エジプト航空の A220-300 など展示されました。また、K5 アビエーションが VVIP チャーターで運航してい

るエアバス・コーポレート・ジェットの ACJ319 も展示され、世界のビジネスジェットの中で最も幅広く天井の高い快適な客室を紹介しました。エアバスのコーポレートジェットは ACJ320 ファミリーや VVIP 用ワイドボディ機などによって中東地域市場において高いプレゼンスを持っています。

飛行展示では最新の A330-900、軍用輸送機 A400M が連日デモ飛行を行いました。また、エミレーツ航空とエティハド航空がそれぞれ同社の A380 を展示しました。

エアバスは中東およびアフリカにおいて 3,100 人の従業員を擁し、高品質な製品やサポートサービスを提供しています。

当地域では 740 機を超えるエアバス機が運航されています。また、今後 10 年で中東を拠点とする航空会社に 1,400 機以上が引き渡される予定です。

contents

ドバイ航空ショーに出展

エミレーツ航空、
A350 XWB を 50 機発注エア・アラビア、
A320neo ファミリーを 120 機発注

中国とのパートナーシップを強化

ベルーガ XL、
欧州航空安全庁より型式証明取得インディゴ、
A320neo ファミリーを 300 機発注GECAS、A330neo を 12 機と
A321XLR を 20 機発注

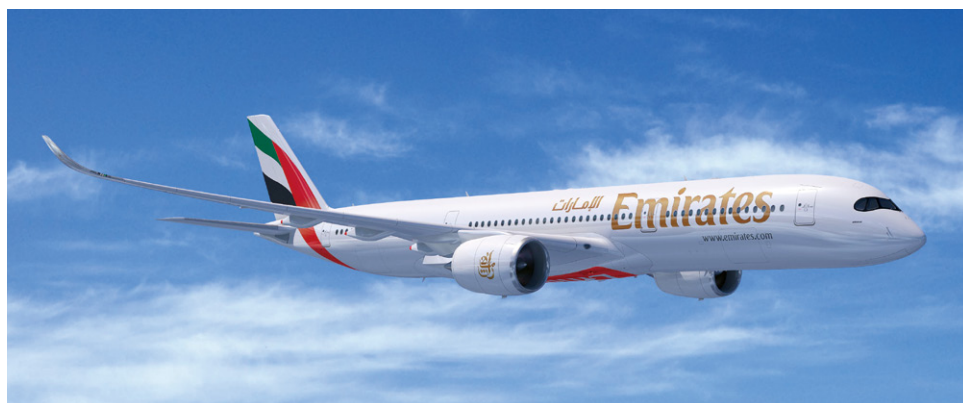
ベトジェット、A321XLR を発注

ドバイ航空ショーのハイライト



様々なエアバスファミリーがドバイ航空ショーに集結

エミレーツ航空、A350 XWB を 50 機発注



50 機の A350 XWB を導入するエミレーツ航空

エミレーツ航空が A350-900 を 50 機発注しました。ドバイ航空ショーで、エミレーツ・グループのシェイク・アハメッド・ビン・サイード・アル・マクトゥーム会長兼最高責任者とエアバスのギヨム・フォーリ CEO との間で契約が交わされました。

シェイク・アハメッド会長は次のように述べました。

「このたび 50 機の A350 XWB の発注契約を交わせたことをうれしく思います。様々な航空機と我々の機材計画を徹底的に検討し、今回の導入を決定しました。効率的な最新の航空機に投資することはエミレーツ航空の長年にわたる戦略です。我々は A350 XWB の高い性能を確信しています」

「A380 や 777 を補完する A350 によって、輸送能力や航続距離、路線投入などの面でより柔軟な運航が可能になるでしょう。これにより、ドバイをハブに、効率的で快適なサービスを提供する我々のビジネスモデルを強化していきます」

さらに、シェイク・アハメッド会長は「今回の契約締結は、アラブ首長国連邦の航空業界の未来に我々が信頼を置いていることの表れです。そしてまた、ドバイが近代的で一流の航空産業によって都市やコミュニティ、経済を結びつける世界の中心地になるという戦略に対して強い確信を抱いていることを証明しています」と付け加えました。

エアバスのギヨム・フォーリ CEO は次のように述べています。「エアバス最新鋭の A350 がエミレーツ航空から高い信頼を得ていることを光栄に思います。この契約によって私たちのパートナーシップは次のレベルに達しました。A350 は比類ない経済性と環境性能を備え、多大な利点をもたらす航空機です。私たちはエミレーツ航空の塗装をまとった A350 が飛行する姿を心待ちにしています」

エア・アラビア、A320neo ファミリーを 120 機発注

中東と北アフリカの LCC であるエア・アラビアが A320neo ファミリーを 120 機発注しました。その内訳は、A320neo が 73 機、A321neo が 27 機、A321XLR が 20 機です。ドバイ航空ショーで、エア・アラビアのシェイク・アブドゥラ・ビン・モハメド・アル・タニ会長、アデル・アル・アリ最高経営責任者とエアバスのギヨム・フォーリ CEO の間で契約が交わされました。

エア・アラビアの保有機はすべてエアバス機です。長距離型 A321LR を含む合計 54 機の A320 ファミリーを運航しています。同社の航空機は快適なモノクラス仕様の客室を備え、シートピッチにもゆとりを持たせています。



120 機の A320neo ファミリーを発注したエア・アラビア

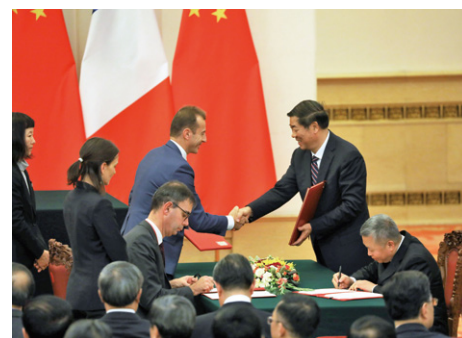
中国とのパートナーシップを強化

エアバスは中国と航空産業においてより深く幅広い協力を行っていくため、パートナーシップのさらなる強化を図ります。

北京で中華人民共和国国家発展改革委員会 (NDRC) の何立峰主任とエアバスのギヨム・フォーリ CEO との間で、産業協力の更なる発展に関する覚書が締結されました。締結式典にはフランスのエマニュエル・マクロン大統領と中国の習近平国家主席らが参列しました。

覚書締結により、エアバスの単通路型機とワイド

ボディ機に関して、新たな計画に対する实际的で効果的な措置をとることで同意しました。エアバスは 2021 年に A320 ファミリーを月産 63 機に増加する目標を掲げ、天津にある A320 ファミリー最終組立工場では 2019 年末までに当初より 50% 多い、月産 6 機の製造を目指しています。また、2020 年後半から天津のワイドボディ機向けコンプリーション & デリバリー・センター (C&DC) で A350 の最終工程作業を開始します。C&DC では 2021 年までに天津から初の A350 の引き渡しを行う予定です。



NDRC の何立峰主任 (右) と握手を交わすエアバスのギヨム・フォーリ CEO (左)

ベルーガ XL、 欧州航空安全庁より型式証明取得

ベルーガ XL が欧州航空安全庁（EASA）より、型式証明を取得したことを発表しました。運航開始は 2020 年初頭を予定しています。

ベルーガ XL はエアバス機の部品輸送を行う特別貨物輸送機で、2019 年以降、生産数増加に向けて重要な役割を担います。ベルーガ XL は既存のベルーガ ST と比べ、長さが 7 メートル、幅が 1 メートル長く、30% 多い輸送能力を持ちます。

世界で最も大きい貨物室の胴体面積を備えるベルーガ XL は、A350 XWB の主翼の片翼を収容する既存機と比べ、一度に両翼を運ぶことができます。ベルーガ XL は 200 回以上の飛行テストで 700 時間以上を飛行してきました。2019 年から 2023 年の間に合計 6 機が製造され、順次、既存のベルーガ ST と入れ替えていく予定です。

2014 年 11 月にローンチしたベルーガ XL は、

A330-200F 貨物専用機をベースとし、部品や装備機器を大幅に再利用しています。エンジンはロールス・ロイス「Trent 700」を装備します。低い位置に設置されたコックピットや貨物室構造部、胴体後部は新たに開発され、これまでとは異なる外観を呈しています。

エアバスでは、大型の航空機部品は主に空輸を行いながら、道路や線路、海も利用して製造工場間の部品輸送を行っています。これまでと同様に、ベルーガ XL は欧州の 11 か所の工場から運航し、生産能力の増強、エアバス機の引き渡しを強化していきます。



EASA より型式証明を取得したベルーガ XL



2020 年から運航を開始

インディゴ、 A320neo ファミリーを 300 機発注

インドのインディゴが A320neo ファミリーを 300 機発注しました。航空会社による単独の発注で最大級の発注となります。

インディゴの発注機種は A320neo、A321neo、A321XLR です。今回の発注を含めると A320neo ファミリーに対する同社の合計発注数は 730 機にのびります。

インディゴは世界でも有数の成長著しい航空会社です。2016 年 3 月に同社の A320neo 初号機が引き渡され、現在は世界最大数となる 97 機を運航しています。さらに従来の A320ceo も 128 機保有しています。



A320neo ファミリーの最大顧客の 1 社であるインディゴ

GECAS、A330neo を 12 機と A321XLR を 20 機発注



A330-900 と A321XLR を発注した GECAS

ゼネラル・エレクトリックの航空機リースおよびファイナンス事業を担う GE キャピタル・アビエーション・サービシズ（GECAS）が、A330neo を 12 機と超長距離単通路型 A321XLR を 20 機発注しました。

発注した 20 機の A321XLR のうち 13 機が新規発注で、7 機は既存の A321 発注分を切り替えたものです。今回の発注を合わせると GECAS の A330 ファミリー合計発注数は 45 機、A320 ファミリー発注数は 588 機にのびります。

ベトジェット、A321XLR を発注

ベトナムのベトジェットが長距離型の A321XLR を 15 機発注し、さらに既存の 5 機の A321neo 発注分を A321XLR に切り替えました。

ベトジェットはまた、エアバスの訓練サービスに関する契約を締結しました。これにより、ホーチミンにある同社の訓練施設に A320 ファミリーのフルフライト・シミュレーターが 2 基設置されます。さらに、エアバスは幅広い訓練サービスを同社に提供します。

ベトジェットは A321XLR を導入することによって、アジアにおいてより長距離路線やオーストラリアや

ロシアの都市へ運航することが可能になり、路線ネットワークをさらに拡大することができます。

今回の発注分を含めると、ベトジェットの A320 ファミリーに対する合計発注数は 186 機になり、そのうち 60 機が引き渡されています。今後引き渡される同社の受注残はすべて A321neo です。

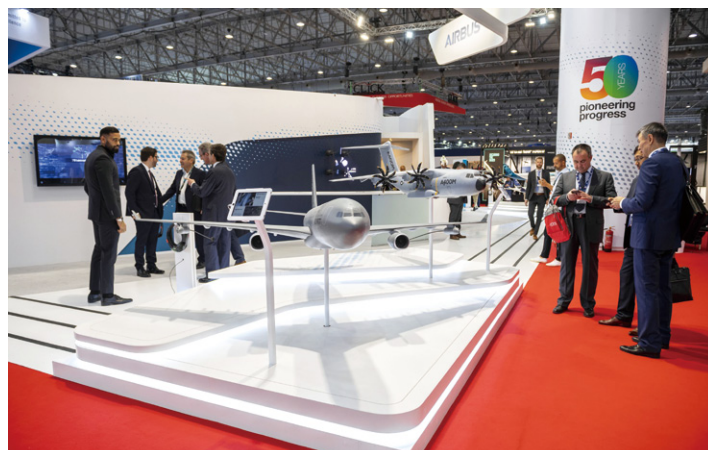


ベトジェットの A321XLR

ドバイ航空ショーのハイライト



デモ飛行で来場者を楽しませた A330neo



エアバススタンドでは軍用輸送機の模型も展示



引き渡されたばかりのフィジー・エアウェイズの A350-900 も展示された



地上展示されたエアバス・コーポレート・ジェットの ACJ319

2019年10月末時点の受注・引き渡し・運航機数

機 種	総受注機数	総引き渡し機数	運航機数
A220 / A318 / A319 / A320 / A321	15,723機	9,180機	8,749機
A300 / A310	816機	816機	308機
A330 / A340	2,140機	1,856機	1,686機
A350	913機	320機	319機
A380	290機	239機	237機
合計	19,882機	12,411機	11,299機